

ビジネスパーソン向けキャリアスキル強化 オンライン型ワークショップ

★ オンラインでワークショップを実施します。

- ・受講者の主体的な演習を中心に行うワークショップ型研修です。
- ・弊社で長年実績を積んできた対面型研修プログラムをオンラインで実施します。
以下のモデルプログラムを参照ください。

★ 特徴

- ・受講生一人ひとりのニーズ・状況に適した独自カリキュラムを設計し、実施していきます。
- ・受講生の主体的な活動を講師がサポートしながら進めます。
- ・主体的活動へのサポートは、受講生と講師が「語り合い」を通じて進めます。
- * 「語り合い」の具体的な進め方・講師の役割などは『月刊人事マネジメント』の【「問題解決プロセスマネジメント能力」を実践型WSで開発する】を参照下さい。
<http://www.ariel-cbm.com/publications.html>

★ キャリアスキル強化のためのプログラム

- ① 転職・独立に向けたスキルを強化したい人
 - ・ 専門能力を個別テーマの問題解決に活かしたい人
 - ・ 将来は研修講師、コンサルティングをやりたい人
 - ・ 取得した資格を実践で発揮するための問題解決力を開発・強化したい人
- ② 現状、担当している業務・プロジェクトの問題を解決したい人
 - ・ リモートワークの生産性を高めたい人
 - ・ 業務改善で成果を出したい人
 - ・ 職場、プロジェクトの中で主体的な役割を担うために能力開発したい人
- ③ ジョブ型雇用、脱時間管理制度で業務生産性向上をしたい人
 - ・ メンバーシップ型からジョブ型へ変更する職場に所属している人
 - ・ ジョブ型人事制度において経験と知識を生かして雇用継続をめざす人
 - ・ ジョブ型雇用の準備をしたい人
- ④ 新たな担当・業務に新たなスキル開発が必要となった人
 - ・ 職場リーダー、プロジェクトリーダーになった人
 - ・ 組織や業務改革推進メンバーになった人
 - ・ 研修講師になった人

★キャリアスキル強化でめざす人材像：問題解決型人材

- (1) “問題解決型人材”とは、
- ①職場やプロジェクト使命・目標達成に向け、
 - ②多彩なステークホルダーとの協働において、
 - ③問題設定、対策立案、実施・評価という問題解決プロセスを、
 - ④成果実現へ効果的・効率的にマネジメントしている人材です。
- (2) 問題解決型人材に求められるスキル
- (a) 問題解決の考え方、進め方、手法（基本的知識、企画作成）
 - (b) 自分の考えを筋道立てて考えること（ロジカルシンキング）
 - (c) 問題について客観的な情報で分析すること（データ分析スキル）
 - (d) 不確実な状況に対応すること（リスクマネジメントスキル）
 - (e) 自分の考えを第三者に伝え、共感を求めること（プレゼンテーションスキル）
 - (f) 目的・目標を持ったグループ活動を効果的・効率的に活動を展開すること（スケジュールリング・モニタリングスキル）
 - (g) グループ内での情報共有・合意形成すること（ファシリテーションスキル）
 - (h) 効率的なグループ活動を展開すること（チームビルディング・マネジメントスキル）

★プログラムモデル

1. 業務改善を通じた問題解決力強化

ねらい：担当業務の業務改善実践を通じて問題解決人材に必要なスキルを総合的に強化を図ります。

- 概要：①業務改善の基本として進め方、手法を習得します。
②企画書・スケジュール表を作成し、内容の検証を行い、実施準備を図ります。
③業務改善活動の進捗状況を確認し、今後の活動方向を確認します。
④業務改善成果の評価と活動を振り返り、次の業務改善に活かします。

2. 専門職実践スキル強化（例：研修講師・インストラクター）

ねらい：独立して専門ノウハウを提供する際に必要な実践ノウハウの強化を図ります。

- 概要：①研修企画の策定、タイムテーブル設計方法の留意点
②研修テキスト、演習教材、講義時投写用パワーポイントの作成
③講義、演習の展開スキルの強化
④事前課題、事後課題の設計、実施上の留意点

3. ビジネス・スキル強化

ねらい：「問題解決型人材」に求められる個々のスキルの強化を図ります。

- 概要：受講生が作成した成果物、または実践（プレゼンテーション質疑応答など）の内容を目的視点と実務視点からアドバイスと次のアクション計画を策定します。